

床暖房について Floor heating

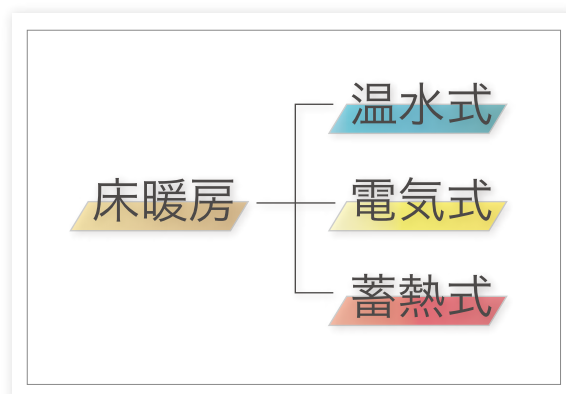
Scandinavian Flooring® での床暖房の使用

Scandinavian Flooring® は、表層 4mm 厚の挽き板を使用し、ムクそのものの温かさや耐久性を生かしながら木の繊維を直交させた 3 層構造によりムクの欠点であるソリやアバレを抑えた床暖房対応商品です（低温床暖房推奨）。

使用方法:

- 1 3 層フローリングでも天然木ですから床暖房の使用による乾燥で材は必ず収縮し現場の環境や施工によっては数ミリ程度の隙間が生じることはありえます。無垢材は、現場の温度・湿度の変化に応じて常に伸縮を繰り返しています。床暖房使用による隙間は、梅雨時には元に戻ります。この点は、お施主様にも事前に十分で説明ください。
- 2 床下温度は 27℃までとし、床表面温度が 25℃を超えないような床暖房システムを選ぶか、温度コントロールや捨貼りをするにより表面温度を下げるような施工をしてください。
- 3 高温床暖房をご使用の場合は、床暖房パネル（熱源体）の上にフローリングを直接施工せずに、12 mm の合板を捨て貼りにして糊・釘併用で施工してください。
- 4 過乾燥を防ぐために、加湿器等を使用して室内湿度を 40% ~ 60% 程度に保つようにしてください。適正な湿度は健康にも大切です。
- 5 床暖房使用時は、カーペットやじゅうたんを使用したり、底面の広い家具等を置かないようにしてください。「こもり熱」により部分的に異常な高温となり、大きな隙間、割れ、反り、変色等の原因となります。
- 6 床暖房使用開始の前後に「オイルソープ」を使用すれば、床表面のクリーニングとともに床に適度な油分を与えることにより過乾燥を防ぐ上で有効です。

床表面温度を 25℃以下にしてゆっくり長く暖めるのが健康にも環境にもそしてフローリングにも優しい床暖房の使い方です。急激な温度・湿度の変化を避けるようにお使いください。



床暖房の種類



オイルソープ